



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 株式会社ミダック 上場取引所 東 名  
 コード番号 6564 URL http://www.midac.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,812	6.6	1,052	15.8	1,008	11.6	516	12.5
2019年3月期第3四半期	3,576	16.3	909	39.4	904	43.0	459	28.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 516百万円 (12.5%) 2019年3月期第3四半期 459百万円 (28.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	54.42	—
2019年3月期第3四半期	46.05	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しておりませんので記載しておりません。

2. 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期（当期）純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,432	3,950	34.6
2019年3月期	9,164	2,252	24.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,950百万円 2019年3月期 2,252百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期（予想）				5.00	5.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2020年3月期の配当予想における1株当たり配当金5円00銭につきましては当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2020年3月期の配当予想における1株当たりの年間配当金は15円00銭となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,084	8.7	1,412	28.6	1,346	23.5	719	26.9	75.87

- （注）1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 連結業績予想につきましては、2019年11月13日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおりであります。
2. 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	10,222,900株	2019年3月期	9,972,900株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	160,450株	2019年3月期	555,450株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	9,493,148株	2019年3月期3Q	9,969,333株

（注）当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境であったものの、米中貿易摩擦をめぐる不確実性など、依然として先行き不透明な状況にあります。

廃棄物処理業界におきましては、中国による廃プラスチック等の輸入禁止措置が行われ、国内で処理しなければならない廃棄物量が増加し、一部の産業廃棄物処理施設では処理能力が逼迫しつつあります。

このような状況におきまして、当社グループは、引き続き収集運搬から最終処分までの廃棄物一貫処理体制を基盤とし、さらなる受託量の拡大及び収益性の向上を目指してまいりました。

焼却施設等の中間処理施設におきましては、大型台風の影響により大量に発生した災害廃棄物の受入を実施するなど、廃棄物の搬入量は増加しました。また、最終処分場への需要は依然として高く、施設の収益性を最大限高めべく、単価の高い廃棄物の受注に注力するとともに、受託量の拡大を図ってまいりました。

また、新規管理型最終処分場である奥山の杜クリーンセンターにおきましては、2022年4月以降の稼働に向けて工事の進捗管理を細かに実施しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,812百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は1,052百万円（同15.8%増）、経常利益は1,008百万円（同11.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は516百万円（同12.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 廃棄物処分手業

当社におきましては、積極的な営業活動により、焼却処理、水処理が好調に推移しました。また、連結子会社である株式会社ミダックはまなにおきましては、最終処分場への需要に応えるため、搬入計画を緩和し、受託量を増加させました。以上の結果、売上高は3,167百万円（同7.2%増）となり、セグメント利益は1,350百万円（同16.0%増）となりました。

## ② 収集運搬事業

既存顧客等からの受注が安定的に推移し、売上高は概ね前年同期水準での着地となりました。また、賃金や減価償却費が増加しました。以上の結果、売上高は531百万円（同0.8%増）となり、セグメント利益は72百万円（同17.0%減）となりました。

## ③ 仲介管理事業

第2四半期連結累計期間に大型工事案件の受注があったことにより、協力会社への仲介が好調に推移しました。以上の結果、売上高は113百万円（同21.6%増）となり、セグメント利益は99百万円（同62.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,481百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加額1,362百万円等によるものであります。また、固定資産は7,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ787百万円増加しました。これは主に、建設仮勘定の増加額951百万円、のれんの減少額187百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、11,432百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,268百万円増加しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,554百万円となり、前連結会計年度末に比べ798百万円増加しました。これは主に、その他の流動負債の増加額856百万円等によるものであります。また、固定負債は2,927百万円となり、前連結会計年度末に比べ227百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少額197百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、7,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ570百万円増加しました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,698百万円増加しました。これは、公募による資本金の増加額257百万円、資本剰余金の増加額257百万円、自己株式の処分による自己株式の減少額317百万円、資本剰余金の増加額394百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益516百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額469百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月13日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおりであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,801,430	3,164,176
受取手形及び売掛金	519,916	623,395
たな卸資産	53,587	50,575
その他	297,482	316,228
貸倒引当金	△837	△1,309
流動資産合計	2,671,579	4,153,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	530,838	504,894
機械装置及び運搬具（純額）	498,438	536,506
最終処分場（純額）	742,666	690,873
土地	1,293,722	1,293,722
建設仮勘定	1,085,737	2,037,727
その他（純額）	42,899	37,775
有形固定資産合計	4,194,302	5,101,499
無形固定資産		
のれん	1,648,657	1,460,837
施設設置権	280,700	250,625
その他	48,754	37,204
無形固定資産合計	1,978,111	1,748,667
投資その他の資産		
その他	325,191	433,573
貸倒引当金	△5,057	△4,157
投資その他の資産合計	320,134	429,415
固定資産合計	6,492,548	7,279,583
資産合計	9,164,127	11,432,651

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	50,320	46,879
短期借入金	2,083,500	2,183,500
1年内償還予定の社債	48,000	48,000
1年内返済予定の長期借入金	639,295	576,457
未払法人税等	267,646	199,724
賞与引当金	61,798	37,168
その他	605,629	1,462,516
流動負債合計	3,756,190	4,554,245
固定負債		
社債	122,000	91,000
長期借入金	2,336,924	2,139,607
最終処分場維持管理引当金	529,539	553,089
資産除去債務	104,090	105,762
その他	62,604	38,100
固定負債合計	3,155,158	2,927,559
負債合計	6,911,348	7,481,805
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	418,016	675,991
資本剰余金	655,823	1,308,596
利益剰余金	1,625,763	2,095,329
自己株式	△446,824	△129,071
株主資本合計	2,252,779	3,950,846
純資産合計	2,252,779	3,950,846
負債純資産合計	9,164,127	11,432,651

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,576,035	3,812,081
売上原価	1,638,517	1,693,874
売上総利益	1,937,517	2,118,207
販売費及び一般管理費	1,028,027	1,065,434
営業利益	909,490	1,052,772
営業外収益		
受取利息	121	105
固定資産売却益	20,443	4,311
不動産賃貸料	930	9,736
その他	6,666	2,216
営業外収益合計	28,161	16,370
営業外費用		
支払利息	29,548	35,774
不動産賃貸原価	—	14,917
その他	3,912	9,690
営業外費用合計	33,460	60,382
経常利益	904,190	1,008,760
税金等調整前四半期純利益	904,190	1,008,760
法人税等	445,102	492,107
四半期純利益	459,088	516,653
親会社株主に帰属する四半期純利益	459,088	516,653

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	459,088	516,653
四半期包括利益	459,088	516,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	459,088	516,653

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月18日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式36,000株を処分いたしました。

また、2019年12月23日を払込期日とする公募増資及び自己株式の処分を実施しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が257,975千円、資本剰余金が652,773千円増加、自己株式が317,752千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が675,991千円、資本剰余金が1,308,596千円、自己株式が129,071千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,955,319	527,173	93,541	3,576,035	—	3,576,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	133,365	108	113,831	247,304	△247,304	—
計	3,088,685	527,281	207,373	3,823,339	△247,304	3,576,035
セグメント利益	1,163,974	86,759	61,135	1,311,869	△402,379	909,490

(注) 1. セグメント利益の調整額△402,379千円は、セグメント間取引消去20,024千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△422,403千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,167,098	531,222	113,760	3,812,081	—	3,812,081
セグメント間の内部売上高又は振替高	144,365	108	122,463	266,937	△266,937	—
計	3,311,464	531,330	236,224	4,079,019	△266,937	3,812,081
セグメント利益	1,350,643	72,017	99,238	1,521,899	△469,127	1,052,772

(注) 1. セグメント利益の調整額△469,127千円は、セグメント間取引消去23,305千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△492,432千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。